

墨田区の特定期業支援等事業「iUスタートアップゼミ」を開催

iU（情報経営イノベーション専門職大学、東京都墨田区、学長：中村 伊知哉、<https://www.i-u.ac.jp>）は、本学教員による「iU スタートアップゼミ」を主催いたします（後援：墨田区 特定期業支援等事業）。

■ iU スタートアップゼミとは

本ゼミを受講すると、「経営、財務、人材育成、販路開拓」が身につきます。4回の講義をすべて修了した方は、会社設立時の登記にかかる登録免許税の軽減などの優遇措置を受けられる場合があります。なお、優遇措置を受けるためには、区が発行する「特定期業支援等事業による支援を受けたことの証明書」が必要です。

※本ゼミの受講対象者と、証明書の発行対象者は要件が異なります。証明書を使用した優遇措置の活用をお考えの方は、ご注意ください。

■ 講演内容

No	分野	講師 ※敬称略	日時
1	経営	江端 浩人	2025年8月20日（水）13:00～15:30
2	人材育成	松井 勇策	2025年8月26日（火）13:00～15:30
3	販路開拓	加藤 志穂	2025年9月2日（火）13:00～15:30
4	財務	中嶋 隆一	2025年9月25日（水）13:00～15:30

【会場】

iU 情報経営イノベーション専門職大学（又はオンライン）

【受講対象者】

- ①墨田区内で起業を検討中の方
- ②墨田区内で起業をしている方、又は企業内創業者
（原則、受講後1～2年以内の創業を目指すこと。）

※受講対象者と証明書発行対象者は異なります。

【証明書発行対象者】

本ゼミを含む墨田区の特定期業支援等事業を修了された方で、次の1～2のいずれかに該当する方

1. 事業を営んでいない個人で、6か月以内に創業する具体的な計画を有する方
2. 創業後5年未満の方

※現在事業を営んでいる方が、別の事業を開始する（した）場合は対象になりません。

※ご自身が証明書の発行対象者となるかわからない場合は、墨田区経営支援課までお問い合わせください。

【受講料】

3,000円（税込み）※iU生は無料

■ 創業支援等事業とは

墨田区では、本ゼミを特定創業支援等事業に位置づけています。修了した方は、会社設立時の登記にかかる登録免許税の軽減などの優遇措置を受けられる場合があります。なお、優遇措置を受けるためには、区が発行する「特定創業支援等事業による支援を受けたことの証明書」が必要です。

※「特定創業支援等事業」とは、産業競争力強化法に基づいて認定された区市町村の創業支援等事業計画における創業支援等事業のうち、経営、財務、人材育成、販路開拓の知識が全て習得できる事業のことです。

※主な優遇措置については、以下のページをご参照ください。

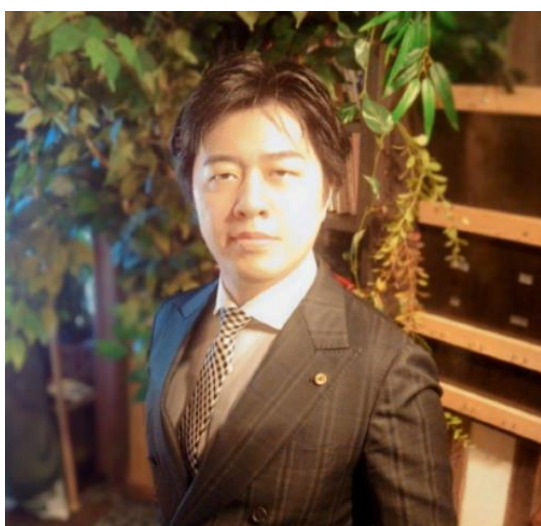
https://www.city.sumida.lg.jp/sangyo_jigyosya/sangyo/sougyo_sien/tokuteisogyo_syomei.html

■ 担当講師 ※敬称略



江端 浩人

米ニューヨーク・マンハッタン生まれ。米スタンフォード大学経営大学院修了、経営学修士（MBA）取得。伊藤忠商事の宇宙・情報部門、IT ベンチャーの創業を経て、日本コカ・コーラでiマーケティングバイスプレジデント、日本マイクロソフト業務執行役員セントラルマーケティング本部長、アイ・エム・ジェイ執行役員 CMO、ディー・エヌ・エー（DeNA）執行役員メディア統括部長、MERY 副社長などを歴任。現在は iU 教授、MAIDX LLC および江端浩人事務所代表として各種企業のデジタルトランスフォーメーションや CDO シェアリング、次世代デジタル人材の育成に尽力する。メンバー 7,000 名次世代マーケティングプラットフォーム研究会 主宰。一般社団法人マーケティングギルドコミュニティ代表理事。



松井 勇策

iU 客員教授、iU と産学連携で設立された雇用系シンクタンクである iU 組織研究機構 代表理事。社会保険労務士・公認心理師、フォレストコンサルティング経営人事フォーラム代表。人的資本経営や人事労務法務のコンサルティングや情報発信・スタートアップ企業の上場整備支援・組織論や産業心理等を応用した事業開発や商品開発等を多数受託している。名古屋大学法学部卒業後、(株)リクルートにて広報・組織人事コンサルティングに従事、のち東証一部（当時の名称）上場時には、上場監査の 事業部責任者等を歴任。著書「人的資本経営と開示実務の教科書」「現代の人事の最新課題」他。

**加藤 志穂**

中学・高校をスペインで過ごし、イギリス系の教育を受けて育つ。日本に帰国後、東京大学・大学院にて化学を専攻し、修士課程修了後は大手日系日用品・化粧品メーカーの香料開発部門、その後、外資系化粧品メーカーにて研究員として技術・商品開発に従事。2015年に独立・創業後は化粧品事業などを展開。現在はiUにおける客員教授、合同会社ベドラルベスの代表を務める。子ども向けヘルスケアブランド GROWNIQUE（グロウニーク）の展開をはじめ、商品開発や新規事業開発に関わる幅広い業務支援を行っている。

**中嶋 隆一**

チューリッヒ大学客員研究員、早稲田大学産業経営 研究所招聘研究員などを経験すると同時に、明治大学、立教大学、専修大学等で主に会計学や簿記論など経営に関わる科目を担当。現在、明海大学 名誉教授、前国際計会研究学会理事・グローバル 会計研究学会理事、前日本会計研究学会評議員、税理士法人JP コンサルタンツ顧問を兼任。

【申込方法】

以下の申込フォームよりご応募ください。

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScML34sVItITa2YdghQcuAVE3OaRHXLiinhkAYjia3s6MNow/viewform>

〆切：2025年8月1日（金）18:00

【主催】

iU デベロップメントセンター

【後援】

墨田区

<大学概要>

■大学・学部学科名

- ・大学名：「情報経営イノベーション専門職大学」 ※愛称「iU（あいゆー）」
- ・学部名：情報経営イノベーション学部 情報経営イノベーション学科

起業率全国1位、増加率2年連続1位、在学中に学生が起業に挑戦する大学。ICT・ビジネス・グローバルな視点について学び、新しい時代を創る人材を育成。さらに必修科目として約4か月間のインターンシップも経験し、将来の起業や就職を見据えたキャリアビジョンの具現化につなげている。

iUホームページ：<https://www.i-u.ac.jp/>

■学長

中村伊知哉（なかむらいちや）



京都大学研究員、東京大学研究員、デジタル政策財団理事長、CiP協議会理事長、国際公共経済学会会長、日本eスポーツ連合特別顧問、理化学研究所コーディネーターなどを兼務。

1984年、ロックバンド「少年ナイフ」のディレクターを経て郵政省入省。MITメディアラボ客員教授、スタンフォード日本センター研究所長、慶應義塾大学教授を経て、2020年4月よりiU学長。

内閣官房、内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省などの参与・委員を歴任。

著書に『新版 超ヒマ社会をつくる—アフターコロナはネコの時代—』（ヨシモトブックス）、『コンテンツと国家戦略』（角川EPUB選書）など多数。

1961年生まれ。京都大学経済学部卒、大阪大学博士課程単位取得退学。博士（政策・メディア）。

情報と経営でイノベーションを起こす人材を育成する、デジタルとビジネスの国際大学。

AI、ソーシャル、Web3、eスポーツ、デザイン思考、メディア、VR/AR、マーケティング、オタク、メタバース、セキュリティ……。プロジェクト授業、4ヶ月インターン、そして恐らく世界初の「全員起業」。

全員が起業に成功すれば就職率がゼロになるので、目標就職率ゼロ。起業数45以上、起業増加率日本一。

だが多くは失敗する。失敗から学ぶ「失敗大学」。コンピテンシー：行動偏差値がトップ級。結果、2期生の就職率99.1%。

連携企業700社以上、客員教員1,000人以上。学生より教授のほうが多い、プロのコミュニティの中で学ぶ大学。

研究所「B Lab」をベースとして地域DX、超校歌、超人スポーツ、ニューロダイバーシティ等100以上のプロジェクトが走っている。

2025年度には、eスポーツの学習・活動・インターン・起業を行う正課「eスポーツ」も設ける。

入学式、卒業式などイベントは学生が企画・運営。自分でつくる大学。デジタル1st。日本初のPC・ネットあり入試を導入。

理念は「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する」。

それ、おもしろい？ それ、あたらしい？

■所在地

・墨田キャンパス：東京都墨田区文花1-18-13

・サテライトオフィス：東京都港区海岸1-7-1 東京ポートシティ竹芝 オフィスタワー8階



左：墨田キャンパス
右：サテライトオフィス

・学生数：655名 ・基幹教員数：30名

■教育理念

「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する。」

■学びの特色

「ICT」「ビジネス」「グローバル」この3つが学びの柱

①組織管理やマーケティング、会計・財務などを学ぶ【ビジネス】

ビジネスの仕組みを理解し、マーケティング、マネジメント、財務、法務などの専門知識を学習

さらに、必修科目「イノベーションプロジェクト」を通じて、課題発見からビジネスプランの立案までを繰り返し学ぶことで、実践力を身に付ける

②アプリ設計・開発、データサイエンスなどの技術を修得する【ICT】

急速に進化する世界で自身のアイデアを形にし、世界へ発信する力となるデジタル技術を身に付ける

プログラミングやデータ処理、ネットワークといった基礎技術から、AI、データサイエンスなどの最新領域をカバーするカリキュラムを展開

③国際感覚や語学力を自分のものにする【グローバル】

卒業後に現場で生きるビジネス英語を中心に、異文化理解、国際情報やグローバルビジネスを学び、ボーダーレスな共創・活躍を実現するための多角的な国際感覚を養い、英語でのビジネスピッチが行えるまでを学び、実社会で活躍できる人材を育成

現場で学び、起業で挑む。600時間の実習×全員起業プログラム

・臨地実務実習とプロジェクト実践演習：1人600時間の臨地実務実習、実在するサービスの事業展開やリアルな社会課題の解決などに取り組むプロジェクト実践演習を実施

・全員起業：全員が在学中に起業に挑戦。必修科目「イノベーションプロジェクト」を通じてリアルなビジネスの立ち上げを経験し、社会で即戦力となる力を育成。希望者には事業化支援・資金提供・登記サポートも完備。

■育成人材像

- ・ICTを活用する様々な業界・団体において課題を解決し、新たな商品・サービスやビジネスを生み出すことのできる人材
- ・ICTを活用し新たな商品・サービスやビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する起業家

【本リリースに関するお問い合わせ先】

iU 情報経営イノベーション専門職大学 TEL : 03-5655-1555 E-mail : info@i-u.ac.jp